

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		認可外保育所保育士研修費助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	4	みんなで元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木 洋治					
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	木部 幹久					
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2155					
予算科目	会計	1	款	3	項	2	目	3	事業連番	10578	法令根拠	合志市健康福祉補助金交付要綱	成果優先度評価結果	11
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		コスト削減優先度評価結果	6					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	認可外保育所の保育士が各種研修に参加した経費に対して1人3,700円/日を助成する。旧合志町で認可外保育園保育士の資質向上のため、開始された。開始時期から1園のみの申請であったが、平成17年度より2園に増えている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①補助金交付申請書(添付:事業計画書・収支予算書)の受付、審査②交付決定通知書③事業の実施④実績報告書(添付:事業実績書・収支精算書)の受付、審査⑤補助金交付確定通知書⑥補助金の請求⑦補助金の支払
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特別要望等はない。実施している認可外保育園より、助成があるので研修に参加させることができる。経営的に助かるとの声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 2園(のべ10人の保育士)に対し、計37,000円の助成を行った。
	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成21年度と同様に補助金の申請を行った園に対し、補助金を支給する。(補助基準等は昨年度と同様。)
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) 園
→ア:認可外保育所(事業所内保育所を除く)	イ
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	認可外保育所に勤務する保育士
⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標	(単位) 人
→ア:認可外保育所に勤務する保育士	イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	保育士の資質向上ができる。
⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標	(単位) 人
→ア:研修に参加した保育士	イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 保育士の資質向上のために、研修は不可欠であり、保育に支障のない範囲で研修参加は必要である。しいては、児童に対する保育の質の向上に繋がるため、昨年同様に研修参加を呼びかけていく。平成22年度も同様に呼びかける。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④活動指標	ア 園		5	5	5	5	4	3	3
	イ								
⑤対象指標	ア 人		27	13	23	27	23	23	23
	イ								
⑥成果指標	ア 人		16	13	20	10	23	23	23
	イ								
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	51	49	74	37	15	15
	(A)事業費計	千円	51	49	74	37	15	15	15
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	4	5	4	4	4	4
延べ業務時間		時間	40	37	40	40	40	40	40
(B)人件費計		千円	159	148	159	159	159	159	159
トータルコスト(A)+(B)	千円	210	197	233	196	174	174	174	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

事務事業名	認可外保育所保育士研修費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

保育士の資質向上のために、研修は不可欠であり、この事業が保育士の資質向上のために、役立っている。経営上、運営費等の税金の補助が殆ど無い認可外保育所において、保育士研修の参加促進に一定の効果があると思われる。認可保育所の場合は運営費として多額の税金が投入されており、保育士の研修参加は義務付けされているが、認可外保育所においては、義務付けまではできないため、当事業が保育士研修の実施に一部負担はあるものの有効に機能している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<input type="checkbox"/> 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 革改善案)・・・複 <input type="checkbox"/> 選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

助成額を増額すると、研修参加は増えるかもしれないが、全て市の財源になるので、財政的に検討が必要である。